

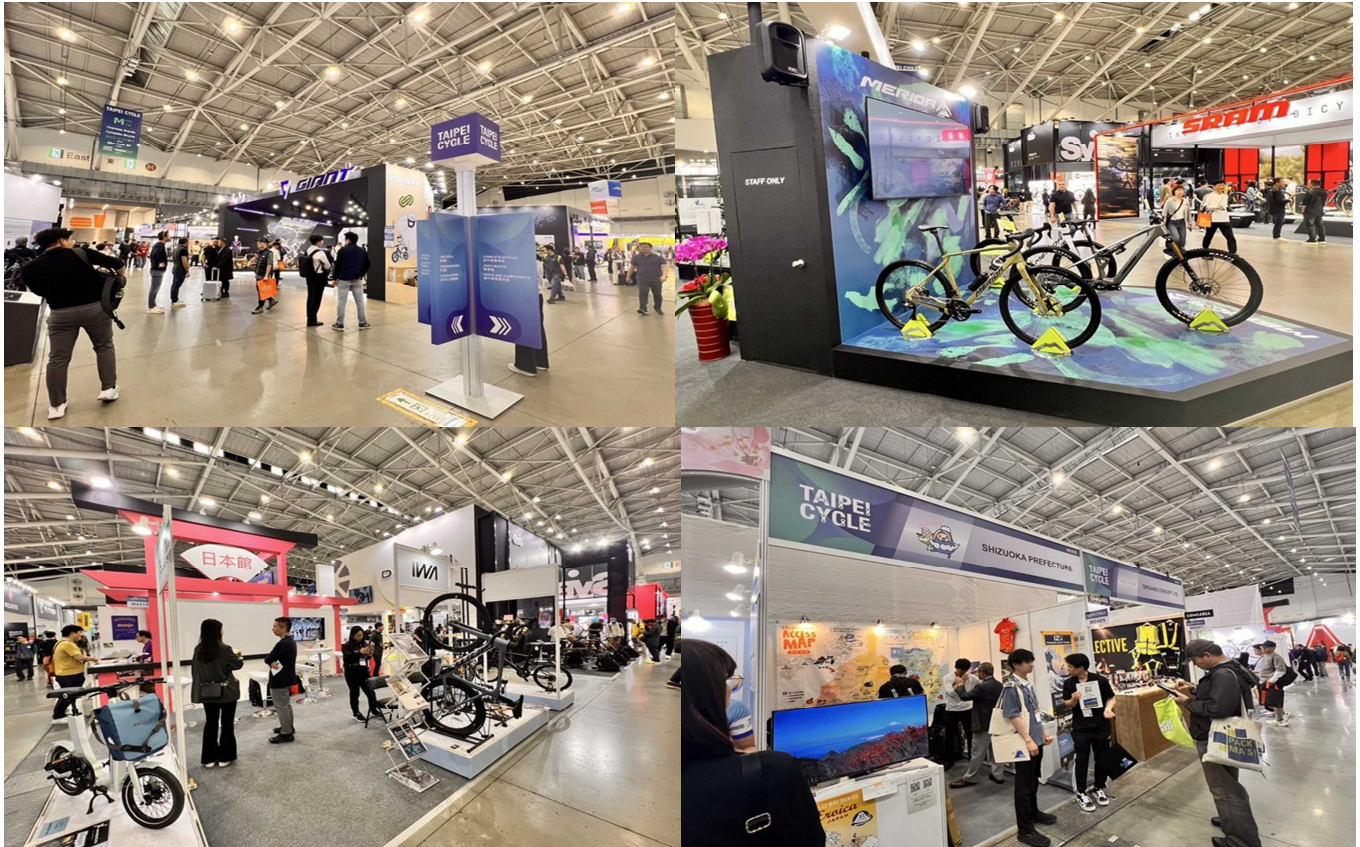
海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

2025.

4

静岡県企画部地域外交課



台北サイクルショー2025 に出展

東南アジア

アジア太平洋地域のハブ空港と競うチャンギ空港（シンガポール）
人々の話題の中心となる新年度予算（シンガポール）

中国

県内事業者を対象とした「中国食品ビジネス先進事例調査 in 上海」
上海ららぽーとで開催された日本PRイベント「ジャパンブランド」に出展

韓国

ロケ誘致の韓国ドラマ「交渉の技術」県内撮影回が韓国で放送、視聴率も上々
静岡マラソンに韓国の超有名人が参加！

台湾

「静岡好物展」を開催 静岡県の工芸品等をTUTAYAで展示
アクティブシニア向けセミナーを初開催
増える日系商業施設 台北初の「ららぽーと」が南港にオープン

東南アジア駐在員報告

駐在員：竹田敏彦

経 済

アジア太平洋地域のハブ空港と競うチャンギ空港（シンガポール）

2024年のシンガポール・チャンギ空港の利用者数は、新型コロナウイルス流行前の2019年とほぼ同水準の6,770万人に回復した。国別の利用者数では、中国、インドネシア、マレーシア、オーストラリア、タイ、インド、日本といった国々が毎年上位を占めている。

同空港は利便性の高さで利用者から高く評価されている。最先端技術を駆使した効率的な施設に加え、国土の狭さを活かしたスムーズな移動が可能だ。例えば、海外出張からの帰国時には、飛行機の着陸後、顔認証の自動ゲートを通り、スーツケースを受け取り、深夜の空いた道路をタクシーで移動すれば、約25キロ離れた自宅に1時間以内に到着できる。

さらに、チャンギ空港は「楽しむ場」としての魅力も備えている。隣接する商業施設「ジュエル」は、2024年の来場者数が8,000万人を超え、開業以来最高の売上を記録。その他にも空港内には新たな施設が続き、訪れるたびに新鮮な体験ができる工夫が凝らされている。最近では、長時間フライトの前に体を動かせるウェルネススペースも設置された。

しかし、チャンギ空港の地位が安泰であるとは限らない。アジア太平洋地域では、他のハブ空港との利用者の獲得に向けた競争が激化している。フィリピン（New Manila International Airport）、インドネシア（Nusantara Airport）、カンボジア（Techo International Airport）、ベトナム（Long Thanh International Airport）では新空港プロジェクトが進行中であり、タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン、香港、韓国では既存空港の拡張計画が進められている。さらに、中東の空港も長距離便のハブとして存在感を強めている。

また、チャンギ空港の使用料上昇に伴い、LCC（格安航空会社）が他の空港への移行を模索する動きも見られる。このような状況を受け、シンガポール政府も危機感を強めており、地域ハブとしての地位を維持するため、新しいターミナル5の建設を含めた空港施設の改善に取り組んでいる。

経 済

人々の話題の中心となる新年度予算（シンガポール）

2月下旬にローレンス・ウオン首相が2025年度予算を発表した。再生可能エネルギーの導入促進、半導体を中心とするハイテク企業誘致、人工知能などの先端分野の研究開発といった大きなテーマの予算がある一方、ウオン首相が「すべてのシンガポール人に向けたもの」と表現したこの予算には、多岐にわたる給付が含まれている。

具体的には、建国60周年を記念した国民一人あたり600～800ドル（約6～8万円）のバウチャー、世帯当たり800ドルの屋台街等で利用できるバウチャー、第3子以上が生まれる家庭への最大16,000ドル（約160万円）の支援等が挙げられる。これらの給付は、テレビ、新聞、インターネットだけでなく、スーパーやオフィスの電子広告など国中でPRされている。

毎年この時期になると、「自分が何月に、いくらもらえるのか」という話題で盛り上がるシンガポール人の姿をよく見かける。しかし、私たち駐在員のような外国人には関係のない話題であり、寂しさを感じる。

中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

経 済

県内事業者を対象とした「中国食品ビジネス先進事例調査 in 上海」を開催

上海事務所は、3月2～5日に県内事業者を対象とした「中国食品ビジネス先進事例調査 in 上海」を開催した。昨年12月のビザ免除で日中の相互往来が回復しつつある中、食品関連ビジネスに係わる県内事業者や支援機関に「現地の最新トレンド」に触れてもらおうとの試みだ。



4日間の行程に日本からは8名が参加し、上海最大級の売場面積（27万㎡）を誇るショッピングモール「環球港」や、アリババ系の近未来型スーパー「フーマー鮮生」、現地で大人気の日式居酒屋「百蝶物語」、中国茶ミルクティーで人気沸騰の「CHAGEE」などを訪問し、現地の食品ビジネスを学んだ。

参加者からは、「日本産水産物の輸出は止まっているものの、現地では日本食がブームというより生活の一部として定着しており、食材・食器・調理器具などニーズのすそ野は広い（島田市・商社）」との声や、「店舗にレジがなく、オンラインでしか注文できないコーヒーチェーンには驚いた。無駄をそぎ落とした経営は圧巻（静岡市・金融機関）」など、各参加者は現地の最新ビジネスモデルから、多くのヒントを得られたようだ。

県通商エキスパートとして視察のガイド役を務めた日工株式会社（静岡市）の青木雅一氏によれば、中国大陸は「食品輸出の条件は厳しいものの、日本食の定着によって底堅い需要が維持されている」という。一方、多くの県産食品が輸出される香港は「食品輸出の条件は緩いものの、日本の各産地間の競争が過熱している」とし、どちらの市場を狙うかは各社の製品ごとに適否があるが、共通するのは「受賞歴や品質管理など強みを活かして価格競争を回避するためのストーリーづくり」だと強調する。上海事務所では、県内企業の中国輸出に向けて通商に精通したアドバイザーによる伴走支援を行っている。是非、お気軽にご相談を頂きたい。

経 済

上海ららぽーとで開催された日本PRイベント「ジャパンプランド」に出展

上海事務所は、上海ららぽーとで3月15、16日に開催された日本PRイベント「ジャパンプランド」に出展し、上海ー静岡間の航空路線や観光資源のPRを行った。

本イベントは日本の大手旅行会社が事務局を担い、中国各地の経済力の高い都市で開催している。その会場は主に日系商業施設であることから、インバウンドの見込客である「日本ファン」が多く訪れるのが特徴だ。



今回は、日本から伊豆地域富士山静岡空港利用促進協議会も出展し、上海事務所と2ブースでの盛大なプロモーションを開催し、上海事務所SNS「小紅書（RED）」の新規フォロワーが2,000人増加するなど、大きな収穫があった。2025年度の開催予定地も発表されたことから、出展や視察を希望される方は、お気軽にお問合せを頂きたい。

（2025年度ジャパンプランド開催予定地）

6月：天津、7月：江蘇省・蘇州、10月：山東省・青島、12月：広東省・深圳、3月：上海

韓国駐在員報告

駐在員：高橋 誠

経 済

ロケ誘致の韓国ドラマ「交渉の技術」県内撮影回が韓国で放送、視聴率も上々

伝説的な企業買収交渉人ユン・ジュノ（俳優イ・ジェフン）を中心にM&Aの裏側で繰り広げられる人間ドラマを描く土日連続放送ドラマ「交渉の技術」の第5～6話が3月22日、23日の両日、韓国J T B Cで放送された。

この2話分の放送回は、主人公のチームが日本の静岡に出張し、自転車ギアメーカーと交渉する話が展開された。本件、実は、昨年4月に制作会社から当事務所にロケ地調整の要請があったもので、事務所から制作サイドにフィルムコミッション富士を紹介するとともに、フィルムコミッション富士には県内のネットワークを駆使して撮影適地を制作側に紹介してもらいつつ、県観光振興課や富士山静岡空港など関係機関との交渉に当たってもらった。県ではロケ誘致を推進する観光振興課をはじめ、県有施設を管理する資産経営課、富士山世界遺産センターなどにも協力いただいた。様々な関係者が努力し撮影されたものである。

撮影地は、富士山静岡空港、県庁、富士山世界遺産センター、修善寺温泉街、静岡市内の居酒屋、富士宮市内の製造企業、富士市内の道路など、県内中西部から伊豆に至る様々な場所に及ぶ。ロケは昨年8月下旬から9月初旬の約2週間にかけて行われ、その間、日韓のキャスト・製作陣合せて約130名が県内に滞在した。日本側制作協力会社によれば、ロケ費、宿泊費、食事代、劇用車、交通費等の直接経費のみで約4,100万円を使用した。主演俳優のイ・ジェフン氏は別の番組で静岡ロケの思い出も語ってくれた。

調査会社ニールセン 코리아によれば、第5回視聴率6.5%、第6回は8.0%を記録。2日間で325万人以上が視聴したという。今回のロケ誘致、実は誘致のための予算は1円も使っていない。県や関係施設が大変だと思ながらも受け入れを決めたことが大きい。韓国ドラマは韓国国内だけでなく日本や海外でも視聴されることが多い。まだこのドラマの日本での放送は決まっていないが、当所のブログではドラマ広報の許可を得て韓国視聴者向けにドラマシーンと撮影地の紹介を行った。韓国語だが右のQRからご覧いただける。



経 済

静岡マラソンに韓国の超有名人が参加！

ドラマ制作もそうだが、事務所が現地にあるからこそいただける提案がある。オンライン専門旅行社インターパークトリプル(現社名は「ノルユニバース」)のS I T (Special Interest Tour) チームが2023年に来所し、「静岡県とテーマ性の高い旅行商品開発でタッグを組みたい」と申し出てくれた。これに応え、双方提案を出しつつ、伊豆トレイルジャーニーなどのトレラン大会、富士山麓のキャンプツアー、画家と一緒に行く県内アーバンスケッチの旅など特徴あるツアーをこの1年半の間で成立させてきたが、この度、同社が当初から希望していた「静岡マラソン」への参加ツアーが初めて実現された。

このツアーには、有名なランニングトレーナー等とともに「キアン 84」というウェブトゥーン漫画家が参加していた。日本では無名だが、彼はここ数年、「韓国放送大賞」「M B C放送芸能大賞」などを受賞している韓国で最も旬の人物だ。彼が大会前日などの様子をYouTubeチャンネル「人生 84 (<https://www.youtube.com/@geean84>)」(登録者数120万人)に投稿したところ、10日間で82万人以上が視聴した。おそらく4月上旬には静岡マラソン当日の動画がアップされる。来年は静岡マラソンへの韓国からの参加者がさらに増えることだろう。

台湾駐在員報告

駐在員：市川 美奈子

行政

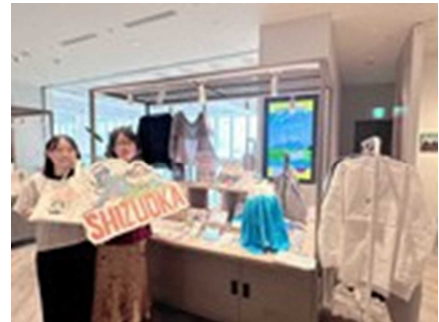
「静岡好物展」を開催 静岡県の工芸品等を TSUTAYA で展示

3月8日～23日、弊所は浜松市と連携し、静岡県の工芸品などを展示する初のPOPUPイベントをTSUTAYA BOOKSTORE 大直 NOKE 店で開催した。展示した品は遠州織物を用いた服や富士山グッズなどで、「伝統的な技術、または静岡にゆかりのあるモチーフを使用し、現代の生活に合致するもの」をコンセプトとして事業者を選定した。各事業者のオンラインショップにアクセスできるQRコードをアイテムの横に配架したところ、多くの来場者が、オンラインショップにアクセスして詳細な情報を調べていた。

POPUP イベントの初日である3月8日には、展示会場に隣接するNOKE 忠泰樂生活イベントスペースで、本県の魅力を紹介するセミナーを開催した。セミナーには100人以上が参加し、熱心に聞き入っていた。

今回のイベントは、台湾や日本メディア計34社で紹介されたほか、日本と台湾の両拠点で活躍するインスタグラマーが紹介してくれており、多くの人の目に触れる機会を作ることができた。個人観光客の割合が年々高まっている台湾市場において、本県の魅力を、様々な切り口から発信していきたい。

【右：本県のPOPUP イベント】



行政

アクティブシニア向けセミナーを初開催

3月5日、弊所は台北市の楽齡中心（生涯学習センターに相当）と連携し、アクティブシニア向けセミナーを初開催した。当日は悪天候にも関わらず、68名の会員が参加した。楽齡中心の職員の方によると、楽齡中心では日々様々なセミナーを開催しているが、参加者は通常50名程度、多くても60名程度とのこと。本県のセミナーは多くの方に興味を持っていただけたようだ。セミナー冒頭で「静岡に行ったことのある人」と質問したところ、約半数が挙手をした。さらに、静岡に行ったことのある人のうちの半数以上が個人旅行だった。元氣な高齢者は積極的に海外旅行を楽しんでいることを肌で感じることもできた。

台湾は2025年に、65歳以上の人口が20%を超える「超高齡社会」に突入すると言われている。心身ともに健康なシニア層へのアプローチは、今後の誘客促進において重要な要素となってくるだろう。弊所でも関係機関と連携し、アプローチを増やしていきたい。

経済

増える日系商業施設 台北初の「ららぽーと」が南港にオープン

3月20日、台北市内の南港エリアに、市内初となる「三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港店」が開業した。三井不動産が台湾で展開する商業施設としては、アウトレットモールを含め5施設目。2026年には南部の高雄市でも開業予定があるそうだ。

台湾の日系大型商業施設にはほかに「ドン・キホーテ」などがある。ドン・キホーテは2021年に台北市の西門に1号店がオープンし、今では台湾に6店舗を展開している。日本では「驚安の殿堂」として知られているが、海外では「日本の良いものを売る高級店」という位置づけなのが面白い。今後も増えていくであろう日系商業施設に注目したい。

静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課
 住所：静岡市葵区追手町 9-6
 電話：054-221-3254 F A X：054-221-2542
 E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp